

Yasuda Monthly News

Sou Zou

[ソウゾウ]

TAKE FREE

5

May 2025
Vol.48



名城公園

特集

レーザー加工のいろいろ

日本三大〇〇 / 美術館のすすめ / 超私的カプセルTOY / YASUDAの理念 /
今月のYASUDA チーム活動メンバー紹介



特集

レーザー加工のいろいろ

以前の特集(2023年8月号)でレーザー加工機の紹介をしましたが、今回はさらに深掘りした紹介をします。

ひとつのレーザー加工機で単純なカットから彫刻までさまざまな加工ができ、紙はもちろん木やアクリル板などの素材で作ることができます。

弊社では主に曲線などが入った細かいカットやシールのハーフカット、写真の彫刻、アクリル板に表面にイラストを描いたりして使用しています。

しかし、レーザー加工が不向きなもの、できない素材もあるので「レーザー加工機でこんなものを作りたい!」とお考えの方はぜひ弊社へご相談ください。各種サンプルがございますので実際に手にとってご検討いただくことができます。



▲GCC LaserProシリーズ C180II



▲細かいカット



▲実際のレーザー加工の様子はこちらから見る
ことができます。



▲写真の彫刻

アクリル板に
カット・彫刻▶



▲高さのあるものでも
彫刻が可能です!



レーザー加工できる素材

- ・紙
- ・木材
- ・コルクボード
- ・竹
- ・珪藻土
- ・MDF
- ・レザー
- ・アクリル板 など

レーザー加工できない素材

- ・塩化ビニール(PVC)を含むもの
- ・鏡や鏡面加工された素材
- ・熱に弱いプラスチックや樹脂
- ・反射率が高い金属 など

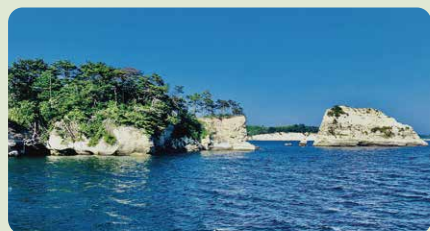
日本三大

まる まる

Vol.1

日本三景編

日本三景とは、日本を代表する三つの景勝地のことで、宮城県の松島(まつしま)、京都府の天橋立(あまのはしだて)、広島県の宮島(みやじま)が選ばれています。この選定は、江戸時代の儒学者・林春斎が中国の「三国志」に登場する「三処奇観」にならない、日本の優れた景勝地を三つ挙げたことに由来します。



松島(宮城県)

大小260余りの島々が点在し、松の緑と海の青が美しい風景を作り出しています。

観光と水産業によって立つ町で、特に牡蠣は名産とされています。



天橋立(京都府)

宮津湾に全長3.6kmに伸びる砂州で、まるで天に架かる橋のように見えることから名付けられました。

一帯には松林が生え、この松は、植林されたものではなく、大部分が自然発生的に生えたものです。

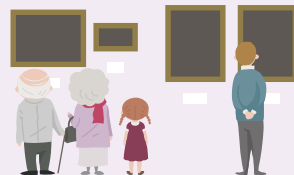


宮島(広島県)

「厳島」の一般的な呼び名で厳島神社の赤い大鳥居が海に浮かぶ幻想的な光景で知られています。

個人的には、宮島は干潮、満潮の両方訪問をおすすめいたします。

美術館のすすめ



碧南市藤井達吉現代美術館 美空間への散歩 ―ア・ラ・カル・ト―

碧南市藤井達吉現代美術館は、碧南市ゆかりの藤井達吉中心とした日本近現代美術館です。

藤井達吉(1881-1964)は、明治初期の文人画 富岡鉄斎などやイギリスのアーツ・アンド・クラフツ運動の影響を受けつつ、同じ時代に広がった民芸運動に共感した作家です。陶器、漆画、木工などジャンルにとらわれず、手仕事ならではの美しさを追い求めました。

生活に根ざした工芸を広め、民芸の「用の美」を体現しつつ、詩情豊かなデザインで独自性を発揮しました。現代では、iPhoneのようなシンプルで洗練された工業製品があふれています。しかし、かつてイギリスの産業革命時代には、大量生産への反発からアーツ・アンド・クラフツ運動が生まれ、手仕事の価値も重視されていました。その流れが藤井達吉に影響を与え、彼の作品には温かみと個性が宿っています。機械にはない手作りの魅力が、今また見直されるのは素敵なことですね。

愛知県美術館 パウル・クレー展

パウル・クレーといえば、カラフルで、シンプルな形や線を使った自由な雰囲気絵の事を思い浮かべるといいます。しかし実は、彼の作品はすごく理論的に作られていて、まるで作曲家が音楽理論に沿ってメロディやハーモニーを組み立てるように、クレーも自分なりの絵画理論で色や動き、構成を考えていました。

モダニズムの時代は、表現の新しさを追求する流れが強かったのですが、クレーもまさにその先頭にいた人のひとり。ドイツのバウハウスで教えていたときには、音楽を聴きながらドローイングするような感性を大事にしたユニークな授業もしていました。

面白いのは、彼の絵は日本の装飾壁画にもどこか似ていたりして、「新しさ」を突き詰めた先が「古代」とつながっていることがなんだか不思議で面白いですね。



今後のおすすめ企画スケジュール

- 4月11日(金)～6月8日(日) どうぶつ百景―江戸東京博物館コレクションより(愛知県美術館)
- 4月12日(土)～6月8日(日) 珠玉の東京富士美術館コレクション 西洋絵画の400年(名古屋市美術館)
- 4月12日(土)～7月6日(日) うっかりやさんのペネロペ絵本原画展(高浜市かわら美術館)
- 4月19日(土)～6月15日(日) レオ・レオーニと仲間たち(刈谷市美術館)

超私的 カプセルTOY

勝手気ままに個人的に気に入ったカプセルTOY(ガチャガチャ・ガチャポン)を紹介していくコーナー

ケローネンザ・カプセルトイ

ベネリック株式会社
1回 500円

SF小説の表紙やCM・ゲーム・トイのメカデザインや立体造形を数多く手掛ける、日本のイラストレーター、モデラーの横山宏氏。企画・デザイン・プロデュースグッズ製作販売会社「メルヘンズ」主催のクリエイター、タケヤマ・ノリヤ氏。そんな二人のコラボ作品「ケローネン」のカプセルTOYを今回紹介します。

もともと別の会社からソフトビニールの人形として発売されていた「ケローネン」。2023年の12月ごろに第一弾の5種類がカプセルTOYとして発売されて好評を得て、2024年の7月ごろに第二弾の5種類、そして今年2025年1月に第三弾の5種類が全国のカプセル自販機(ガチャガチャ・ガチャポン)にて発売されました。

第一弾から第三弾のあわせて15種類がラインナップされていますが、造形は全て同じもので違いはカラーリングだけとなっています。以前のソフトビニールの人形より小サイズになってコレクションがしやすくなり、また小サイズながら両腕の回転、腰の回転、背中のパイロットのオタマの着脱が可能となっています。



今月のYASUDA

4月から弊社内のチームが変わり、リーダーとメンバーが一新しました！

教育訓練チーム

この度、教育訓練チームのリーダーを務めることとなりました。

社員一人ひとりが世の中から必要とされるためのスキルや技術の向上と、研修生が安心して且つ意欲的に学んでいける環境づくりに力を入れてまいります。

チーム一同協力して頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

チームリーダー 猪子

環境整備チーム

今期の環境整備チームでは、〈毎日気持ちよく仕事ができ、いつでもお客さまをお迎えできるような環境を整える〉ことを目標に日々の掃除や現状の整理整頓を見直します。

ピカピカの社内環境を目指して、チーム一同頑張ります。

チームリーダー 松尾

情報発信チーム

今期の情報発信チームでは、前期同様、主に広報誌の発行と各種SNS更新を担当します。

日々の弊社の様子や印刷、紙の加工などに関するちょっとした知識を発信していきます！

毎月楽しい広報誌お届けできるようにチーム一同で頑張っていきますのでよろしくお願いします！

チームリーダー 加藤

YASUDAの理念

第1回

「守」「破」「離」

「守・破・離(しゅ・は・り)」は、日本の伝統的な考え方で、芸道や武道の修行の過程や成長を表す言葉です。多くの伝統芸能や武道、茶道などには「型」が存在します。

「守」は師や流派の教えを忠実に守り、基本を徹底的に身につける段階。

忠実に守ることは、師や流派に敬意を表すことでもあり、信頼関係を築いてより深い教えを受けるためにも「守」の姿勢は大切です。

基礎がしっかりしていなければ、「破」や「離」のような応用や発展は望めません。まずは繰り返し練習して土台を固めることです。自然に反応できるまで身体に染み込ませなければなりません。



お客様の思いを伝えることがYASUDAの使命です。

2025年4月末日 発行

発行者: 安田 智雄

発行所: 〒451-0043

名古屋市西区新道2丁目13番10号

安田印刷工業株式会社

TEL.052-533-0088

FAX.052-571-1200

SNS・HPは
こちらから



SDGs宣言企業を
応援いたします。

安田印刷工業がお手伝いいたします

各種印刷物からWeb、広告、販促物などお客様の思いを伝えることならお気軽にご相談ください。

【印刷物一例】名刺／DM／チラシ／ポスター／冊子／カタログ／リーフレット／POP UP／のぼり／懸垂幕／横断幕／パッケージ etc.

【経営理念】『球角球』お客さまの要望に応え 自らの成長を志し お客さまを創造し続ける

YASUDA
PRINTING CO., LTD.